



第53号

佐倉市臼井地区社会福祉協議会 発行者 八田進 編集 広報事業部

ありがとう事業 “感謝状贈呈式”を開催しました

令和4年12月10日、今年度の「おじいちゃんおばあちゃんにありがとうを伝える事業」(ありがとう事業)の感謝状贈呈式を、臼井自治会館で開催しました。

今年度の対象者は72名。子どもの見守り・防犯パトロール・福祉活動での表彰が70名、長寿(100歳)功労賞での表彰が2名でした。

今年は感謝状の他に記念品として、バッチ、佐倉のお菓子詰合わせ、携帯用防災グッズ、マスク、子どもたちからの感謝の手紙を贈りました。

特に防災グッズは今回初めて選んだもので、ポケットやバッグに入れて行動出来る、携帯に便利なサイズのものでした。



贈呈式の様子

臼井地区社協のロゴが印刷されたポーチの中には、アルミブランケット、LEDライト、圧縮タオル、ホイッスル、カラビナ、防災パンフレットが入っています。見守り、パトロールや外出の際にお持ちいただければと思います。

贈呈式当日は、表彰対象者がいる地区から、自治会・町内会の代表者と受賞者代表の2名が参加、24名の方(欠席2名)が出席されました。

感謝状授与後には、福祉活動で受賞されたニッコ団地の近藤熊吉氏が、受賞者代表で地元でのいろいろなボランティア活動について、お話し下さいまし



携帯用防災グッズ



佐倉のお菓子詰合わせ



受賞者代表:近藤熊吉氏

今年は最後に、受賞者全員と参加者全員の集合写真を撮影しました。

出席された受賞者の方には感謝状贈呈時と受賞者の集合写真を、簡易な写真立てに入れ、後日お届けしました。

また、対象者のいる地区には、当日の様子を撮影したDVDと写真を入れたCDをお渡ししました。特に写真は、各地区の広報紙や高齢者クラブの会報などに使用していただければ幸いです。

令和5年度のありがとう事業も、本年度同様に行う予定です。各自治会・町内会へはまたご協力いただくこととなります。どうぞよろしくお願い致します。

出席された方々へ



各地区参加者の方々

令和4年度総括 活動再開に向けて 臼井地区社会福祉協議会会長 八田 進

コロナと共に過ごした今年度は、昨年度より少し活動も戻ってきましたが、まだまだ元には戻れていません。
今年度を振り返って会長からの総括です。

令和4年度はまだまだ新型コロナウイルス禍で、活動自粛が続いていましたが、年度後半からは事業も少しずつ再開しています。
福祉委員定例会も当初は大勢で集まらず「書面決議」や「2部制」で開催していましたが、

感染が減少に向かった11月からは、全体での開催が出来るようになりました。

会議方法も画像やコメントを表示出来るパワーポイントの活用を始めました。これによって福祉委員全員が活動内容をより理解し、所属する事業部以外の活動も「見て・知る」ことが出来るようになりました。

いきいきサロン事業部の「100円喫茶」は、いつも多くの方が参加され、楽しんで頂いていましたが、3密による感染を防ぐため、コロナ以前のような活動はまだ控えています。しかし「買物支援」として、野菜販売・日用雑貨販売は春から再開秋からは「ちよっと一服」のコーナーも設けてみました。

高齢者福祉事業部の昼食会、配食サービスは健康管理センターの調理室が利用出来ないこともあり休業中です。

研修事業部、高齢者福祉事業部の施設訪問も、感染者が出たため実施出来ませんでした。

佐倉市の事業である「おじいちゃん・おばあちゃんありがとうの気持ちを伝えたい事業」は今年で3回目になります。12月には感謝状、記念品、児童からの感謝の手紙等を贈呈しました。さらに贈呈式に出席して下さった方々には記念として、個人と全体の写真を写真立てに入れ、自治会・町内会を通じてお届けしました。



写真を多用した会議で より判りやすく



愛の手サポートセンター 予定がぎっしり

ここ数年、各地区社協とも重点活動の一つは「支えあい」活動になっていきます。臼井地区社協の「愛の手サポート」は4年目に入ったところですが、自治会・町内会・臼井ふるさとづくり協議会等のご理解、ご協力もあり、多くの方々の「ちよっと困った」のサポートが出来るようになりました。

コロナ禍で一部のサポートは制限しているところもあります。もう少しで全面再開出来ると思います。地域の皆さまにはサポーター登録、賛助会費のご協力が頂ければと思います。宜しくお願い致します。

最近「支えあい」活動のことが、千葉県主催の講演会、佐倉



臼井地区社協 活動報告 令和5年1月～3月



市、市社協での会議などで、度々取り上げられています。
少子高齢化社会、人口減少、核家族化、孤立化などが進む中では、地域のことは地域の人が助け合っていく仕組み、「ちよっと困った」を手助けする活動が必要になっていくと思います。
地域の人がより良く暮らし続けるためには「互助・助け合い、支え・支えられ」という、相互の仕組みを充実することが必要だと考えます。

こうしたことを踏まえて、令和5年度はより多くの事業が再開出来るよう、工夫して行きたいと思っています。

1月	14日(土)	第8回理事会	2月	15日(水)	ふれあい買物市場・うすい荘班
	18日(水)	ふれあい買物市場・稲荷台班	3月	11日(土)	第9回理事会
	19日(木)	愛の箱回収・集計作業		18日(土)	第9回福祉委員定例会
	21日(土)	第8回福祉委員定例会		18日(土)	広報紙「うすい」53号発行
	24日(火)	新春友愛訪問開始		29日(水)	ふれあい買物市場・八幡台班

地区社協活動 今できることとは何？ 試行錯誤の1年



ふれあい買物市場 in ニッコー会館

コロナ禍と言ふ言葉がすっかり定着した本年度も、感染状況を見ながらの活動が続きました。

100円喫茶サロン事業部は、今年も買物支援に力を入れ、野菜販売とキャロルさんの衣料品雑貨販売、お買い上げの方が挑戦できる抽選会(空くじなし)という3点セットがほぼ浸透しました。特に抽選会は『当たり』の本数を増やし、なるべくたくさんの方が当たるようにしました。賞品はイエローレシートキャンペーンでいただいたお菓子をメインに、たくさんのお客様に楽しんでいただけたと思います。



ふれあい買物市場 in 稲荷台2丁目町内会館

高齢者・障害者福祉事業部は、1月に恒例の「新春友愛訪問」を行いました。
ひとり暮らしの高齢者昼食会(いこいの昼食会)のように一堂に会して行う事業や、配食サービスのようにお弁当を作る事業はまだ出来ない中、友愛訪問は安否確認の大事な事業です。本年度は162軒のお宅を訪問しました。

しかしまだ地域によっては、お客様よりもスタッフの方が多いところもあり、今後の工夫が必要かもしれません。感染状況が落ち着けば、令和5年度は久しぶりにサロン開催も検討する予定です。



友愛訪問ティッシュボックス仕分け

出迎えてくれた皆さんは、それぞれ工夫しながら、元気にコロナ禍を過していました。
こうした体験を、直接みんなでお聞きできるような状況に、早く戻れるようにと祈るばかりです。

地域福祉事業部は、本年度も「愛の箱」の回収、集計作業を行いました。(詳細は4面)
現在「愛の箱」は臼井地区内12箇所に設置させていただいて

「愛の箱」浄財は、100円喫茶サロンの運営、いこいの昼食会、配食サービスをはじめとする、臼井地区社協の活動費として使用させていただきます。

一方で、研修事業部が計画していた「救急救命心肺蘇生法講習会」と「施設視察研修」は、今年も残念ながらコロナ禍のため中止となりました。

福祉委員全体の活動としては、1月、3月に定例会を行いました。昨年12月から臼井公民館集会場の使用可能人数が拡大されたため、2部形式の会議は終了し、両月とも出席福祉委員の数は多くなりました。

1月の定例会では、12月に行った「ありがとう事業感謝状贈呈式」のDVDを上映、「ありがとう事業」についてより詳しく知っていただく良い機会になりました。

令和5年度の活動もすぐに始まります。この数年間のコロナ禍でのノウハウを活かしつつ、どうしたら通常の事業を再開出来るか、考えて行きたいと思っています。

イオンイエローレシートキャンペーンご協力をお願い

イオンで毎月11日にお買い物をすると、黄色いレシートが発行されるのをご存じですか？

令和4年度後期(9月～2月)の結果がまとまり、今回は770,392円の投函で7,700円分、前期と併せて19,500円分のイオンギフトカードを頂きました。今回いただいたギフトカードは4月からの買物支援、サロン、福祉委員活動などに使用させていただきます。ご協力ありがとうございました。引き続きご協力をお願い致します。



臼井地区社協シール

令和4年度福祉功労者表彰

本年度の表彰式は中止になりました



以上

◆会長感謝状
福祉活動功績者(個人)
佐藤辰夫(八幡台)
福祉活動功績者(団体)
ほつとすぺーす・つき
特別会員(個人) 20年
三村富美子(稲荷台1丁目)

◆特別功労賞 会長表彰後10年
佐藤喜美子(八幡台)
役員、評議員、福祉委員8年以上
池田辰治(ニッコー団地)
菅原かおり(ニッコー団地)
岡野高明(稲荷台1丁目)

本年度も社会福祉の発展に功労のあった方々の授賞が決まりました。臼井地区で受賞された方は次の通りです。(敬称略)
おめでとうございました。
※なお表彰式は、新型コロナウイルス感染症拡大防止とインフルエンザ流行時期を鑑み、中止となりました。

愛の箱ご協力 および ご寄附 ありがとうございます

愛の箱集計しました

福祉の心「愛の箱」は、臼井地区社協がいろいろな活動するためにしている「自主財源確保活動」の一環で、地域の皆さんから温かい心を頂いている浄財の箱です。

令和4年度の回収は1月19日に行いました。

本年度は「愛の箱」常備設置(下記参照)の12か所と1月21日の福祉委員定例会での協力で、合計39、875円の浄財をいただきました。ご協力ありがとうございました。引き続きご協力をお願いします。

寄付をいただきました

また先日は円應寺様から、20、131円のご寄附をいただきました。

今後の活動に有効に活用させていただきます。ありがとうございます。



*臼井地区社協「愛の箱」設置にご協力いただいている場所は下記のとおりです。(あいうえお順)

①稲荷台郵便局	②うすい歯科医院	③臼井田自治会館	④臼井郵便局
⑤太田堂	⑥キャロル	⑦サロン野口	⑧スーパ-タイヨ-佐倉店
⑨ニッコー会館	⑩八幡台自治会館	⑪ファミリーマート	⑫丸進クリーニング

ご意見はうすいセンターまで

「うすいセンター」(臼井・王子台・うすい東地区社協合同事務所)
臼井地区社協担当日は
毎週月曜日・木曜日
開館時間・午前9時半～午後4時半
(12時～1時は昼休憩です)
住所: 佐倉市王子台1-23
レイクピアウスイ3階
電話: 043(462)0743
メールアドレス:
center-usui@catv296.ne.jp
ホームページ:
http://www.catv296.ne.jp/~usui-syakyo/

うすい景

『1円を笑う者は1円に泣く』これはご存じのとおり「どんなわずかなお金でも軽視してはいけない」という戒めのことわざです。しかし今の世の中「1円に泣かされる」時代になっているような気がします。

現在郵便局とほとんどの銀行では、ある枚数以上の硬貨を窓口を持ち込むと、手数料がかかります。例えばコソコソと貯めた貯金箱の小銭を入金しようとしても、下手をすれば赤字。神社仏閣のお賽銭でさえ手数料が取られるそう、まるで硬貨は邪魔者扱いです。

とある街頭募金では知り合いに「今日はお財布持っていないから、小銭がない」と言われました。支払はすべてスマホ決済なので、財布は持たないとのこと。財布レスで外出?! 無理無理と思う私は古いということでしょうか?

さて先日「愛の箱」から浄財を回収させていただきました。1円玉もたくさんありました。幸い「募金」には手数料が掛かりません。ということ、もしもご家庭で邪魔者扱いされている硬貨がありましたらぜひとも「愛の箱」へ! 臼井地区社協では1円だって軽視せず、有効に活用させていただきます。(永瀬)